

経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県綾川町 綾川町国民健康保険陶病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	対象	透訓	臨へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
24,255	6,157	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

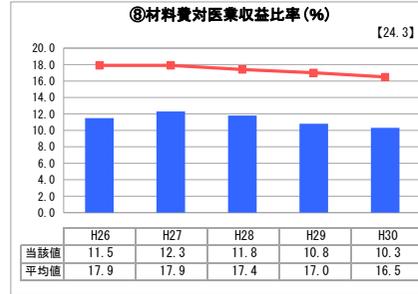
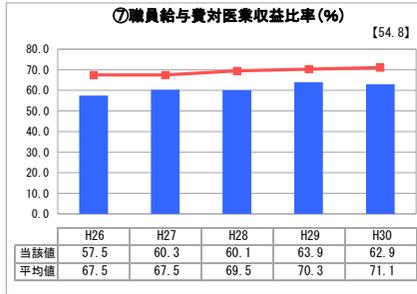
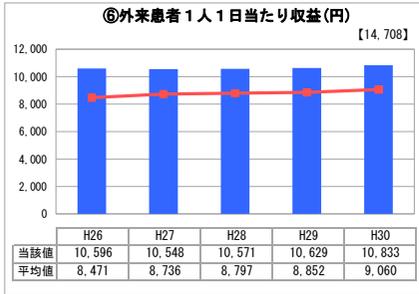
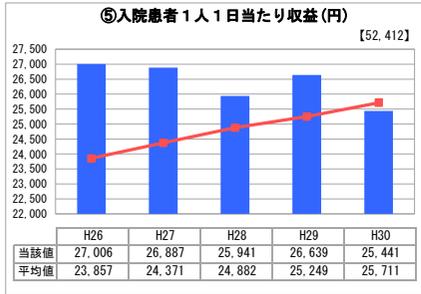
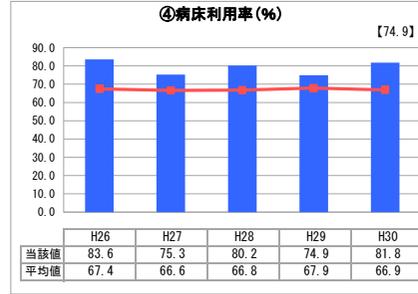
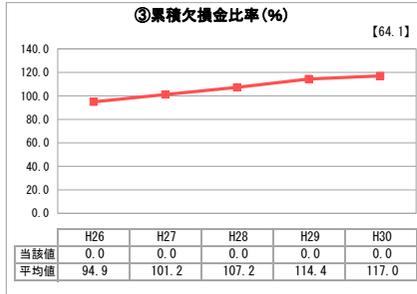
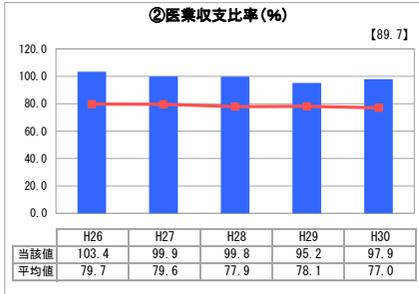
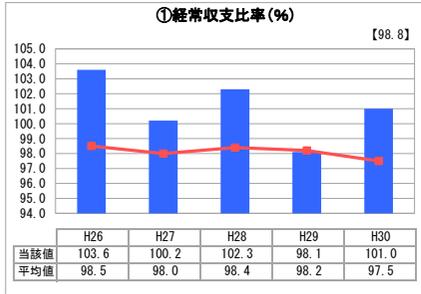
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
35	28	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	63
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
35	28	63

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

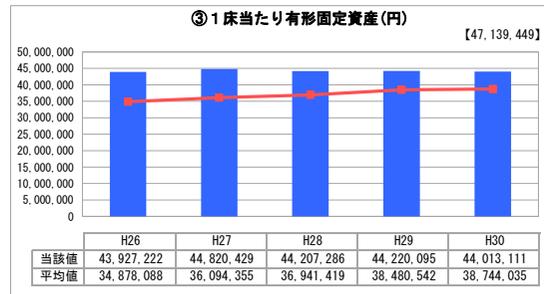
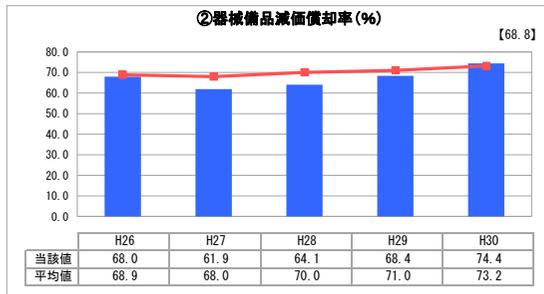
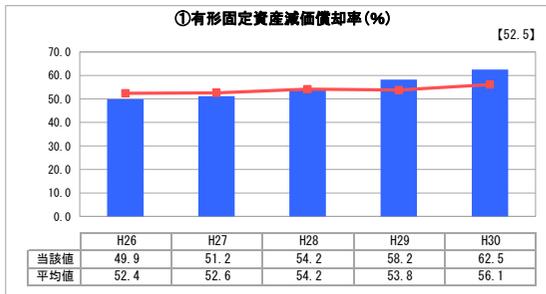
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

急性期から在宅医療、介護まで、患者の状況に応じた療養環境で適切な医療が受けられるように、地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域の医療機関、訪問看護ステーション、薬局、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携強化を図りながら、多職種・多機関による「顔の見えるネットワークづくり」に努め、地域連携拠点病院として「安心・安全のまちづくり」に貢献している。また、地域での保険事業へも各分野の職員を積極的に派遣している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

前年度経常収支赤字から黒字へ転換した。地域連携室の機能強化（人員増）により病床利用率が上がったことが大きな成果につながった。また、前年に比べ大きな修繕がなく、各部門における節約も功を奏し、経費も削減された。医師確保については毎年苦慮しており、香川医大、県立病院等に派遣していただいている。附帯事業の訪問看護、通所リハ、病児保育、老人訪問看護支援センター事業は年々利用者が増え、今後も病院と一体となった在宅サービス提供にも力を入れ、地域のニーズに合ったサービス提供に努めたい。

2. 老朽化の状況について

平成16年に改築され16年が経過し、減価償却率が62.5%で類似病院比較において上回ってきた。施設は問題なく稼働しているが、徐々に機器類の更新が必要となってきているので、機器備品については計画的に適切な更新を行っており、今後、施設の長寿命化計画を策定予定である。一床当たりの有形固定資産については、地域医療の拠点としてCT、MRIなどの検査機器も保有しており、63床と病床数が少ないことより類似病院（50床～100床）と比較すると高めに出ているが、機器レベルは落とさず更新を行っていく予定である。

全体総括

経常収支が黒字に転じたが、減価償却が終了する設備・器械が増え、今後の更新についての計画性が求められる。病床機能については地域包括ケア病床への移行を進め、平成29年3月に策定した「綾川町国民健康保険陶病院新改革プラン」に沿い、香川県における地域医療構想調整会議において個々の医療機関の機能分化・連携を促進するための協議を踏まえ今後の病院経営を随時見直ししていく必要がある。今後も公立病院の役割を担い、高齢化が進む社会の中で住民の求める医療を適切に提供していく体制を整え、健康で安心して暮らせる町づくりに貢献していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。